

令和6年度 小中一貫校 南アルプス市立若草南小 学校経営方針

I 若草地区小中一貫校教育目標

「よく学び 心豊かで たくましい児童生徒の育成」

目指す児童生徒像

自ら学び、深く考える児童生徒（知育）
心豊かで 思いやりのある児童生徒（徳育）
健康でたくましい児童生徒（体育）
意欲をもち 最後までやり抜く児童生徒（意欲）

II 学校教育目標

「学びを深め 心豊かな たくましい子ども」

具 体 目 標 自ら学び 深く考える子ども (知)
 豊かな心で 思いやりのある子ども (徳)
 体をきたえ 最後までやりぬく子ども (体)

目指す学校像	育てたい児童像
➤ 笑顔あふれる学校	➤ 人の痛みがわかる思いやりのある児童
➤ 学び合い 高め合い 信頼し合う	➤ 自分の考えをもち、チャレンジする児童
地域と共にある学校	➤ 若南プライドをもち、ふるさとを愛する児童

若南プライド：地域の歴史・伝統・文化に気づき、自ら学び、体験する中で 地域に誇りを持ち、自尊心を高める、積極的な活動に取り組む精神・自他の尊重・多様性を認め合う精神

III 学校経営方針

- 1 児童や地域の実態をふまえた適切な教育課程の編成と実施に努める。
- 2 「自ら学び 深く考える子ども」の育成を図る。
- 3 「豊かな心で 思いやりのある子ども」の育成を図る。
- 4 「体をきたえ 最後までやりぬく子ども」の育成を図る。
- 5 特別支援教育（特別支援学級・通級指導教室）の充実に努める。
- 6 児童の安全・安心を守り、家庭や地域に開かれた学校づくりを推進する。

IV 具体的な取組

1 児童や地域の実態をふまえた適切な教育課程の編成と実施に努める。

- (1) 新学習指導要領の理念をふまえた若草地区小中3校の9年間を見通した教育課程の編成と改善
- (2) 幼稚園・保育園・若草小学校・若草中学校との連携を考えた教育課程の編成
◆中学生や園児との交流推進 ◆情報交換会の充実 ◆児童会・生徒会活動など、交流会の計画的実施
- (3) 各教科や道徳、総合的な学習の時間、学校行事を含めた特別活動など横のつながりと異学年間の縦のつながりを考えた効果的な教育課程の編成
- (4) 全教育活動を通じた体系的なキャリア教育の推進
◆地域探検や施設見学 ◆福祉体験 ◆栽培活動 ◆10歳を祝う会 ◆キャリアパスポートの活用
- (5) 学校内外の教育資源の活用と体験学習の充実
◆地域教材・人材の活用 ◆体験的活動（地域学習を含む）

2 「自ら学び 深く考える子ども」の育成を図る。

- (1) 学習意欲の向上や基礎的・基本的事項の確実な定着を意識した授業づくり
◆反復繰り返し学習 ◆市単講師によるTTや少人数指導

- (2) 学習スタンダードに基づいた授業づくり
 - ◆若南学習スタンダード（学習モデル・学習プロセス・学習ルール）の定着化
 - ◆問題解決的な学習展開，見通しと「対話」のある授業づくり
- (3) 『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な授業づくり
 - ◆学習者が主体となる授業づくり ◆他者との協働的学習の場づくり
 - ◆端末などのICT利活用 ◆各教科の特質に応じた言語活動の充実
 - ◆外国語教育の充実
- (4) SDGsの視点を取り入れた学習活動
 - ◆自然環境，資源，貧困など地域，世界の諸活動について自らの課題として考える学習活動
 - ◆若草地区3校の児童会・生徒会との協働活動の実施
- (5) 組織的・計画的・継続的な校内研究の充実
 - ◆学級づくりと授業実践を中心とした校内研究の推進 ◆一校一実践・一人一実践の取組
- (6) 家庭学習の習慣化とアウトメディアの取組
 - ◆家庭学習の手引きの活用 ◆家庭学習取組強化週間 ◆主体的に取り組む学びノートの活用
 - ◆長期休業中のアウトメディアの取組◆SNS，オンラインゲームについての防犯講話実施
- (7) 高学年における教科担任制の継続
 - ◆専科教員が行う教科指導 ◆担任が交換授業として行う教科指導
 - ◆児童及び職員の状況確認と改善

3 「豊かな心で 思いやりのある子ども」の育成を図る。

- (1) 自分の大切さとともに他の人の大切さを認める人権教育の推進
 - ◆人権尊重の理念に基づく教育活動
 - ◆話の聞き方 みとめ合い名人のアイコンタクト①いね②なずき③がおオッケー
あいづち名人④あなるほど⑤いねそれ⑥んうんわかるよへ⑦ーそうなんだ⑧ーすごい
 - ◆場に応じた丁寧な言葉遣い
- (2) 全ての子の居場所のある居心地のよい学級経営の充実
 - ◆所属感，自己有用感，自己肯定感を持たせる取組の工夫 ◆スリンプルプログラムの実施
 - ◆Q-Uの活用◆学校生活アンケートの活用 ◆SOSの出し方に関する教育の実践
- (3) いじめ，不登校の早期発見と迅速・組織的な対応・指導
 - ◆「学校いじめ防止基本方針」に基づく指導と見直し
 - ◆いじめ調査（学校生活アンケート）の実施と活用
 - ◆ケース会議の実施と共通理解による組織的対応強化，関係機関との連携
- (4) 学校教育全体を通じた道徳教育の充実及び読書活動・音楽活動の推進
 - ◆考え，議論する道徳の推進 ◆道徳公開授業の実施
 - ◆朝読書の効果的实施 ◆図書集会の活用 ◆読み聞かせの取組 ◆歌声タイム ◆音楽会
- (5) 児童会を中心とした仲間づくり・集団づくり
 - ◆あいさつ運動 ◆縦割り班活動 ◆ボランティア活動
- (6) 集団生活のルールやマナーの徹底
 - ◆月ごとの生活目標 ◆あいさつ運動 ◆無言清掃 ◆全校集会や全校放送の活用
 - ◆若南プライド「心のやりとりきちんとあいさつ・心に向ける返事・心をそろえるくつそろえ」

4 「体をきたえ 最後までやりぬく子ども」の育成を図る。

- (1) 運動の日常化による基礎体力づくり
 - ◆体育的行事の計画的実施 ◆「健康・体力づくり一校一実践運動」の取組
- (2) 粘り強く最後までやり抜く意思を育てる指導支援
 - ◆体育授業の充実 ◆粘り強さを大切にした学習指導の充実
- (3) 基本的な生活習慣の確立と保健指導の充実，給食指導を中心に食育の充実
 - ◆たよりや掲示物，学級指導，保健集会の活用 ◆給食週間の取組

5 特別支援教育の充実に努める。

- (1) 児童の実態に応じた特別支援学級の運営
 - ◆校内支援委員会の定期的な開催
- (2) 特別支援教育の視点を取り入れた学級経営
 - ◆特別支援学習会の実施 ◆ユニバーサルデザインの活用
- (3) 交流学級・在籍学級の担任，保護者・関係諸機関との連携を活かした指導支援の充実
 - ◆機能的なケース会議開催 ◆外部の専門機関や関連行政機関との連携
 - ◆「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成と活用
- (4) サポートルームわかくさのセンター的機能の充実
 - ◆校内外のニーズをもつ児童のアセスメント ◆教育相談

6 児童の安全・安心を守り，家庭や地域に開かれた学校づくりを推進する。

- (1) 小中一貫校の取組推進
 - ◆若草地区小中3校との連携・交流 ◆地域人材の活用 ◆地域行事への参加・地域貢献
 - ◆学校運営協議会運営に向けての協議
- (2) 全教職員が「一致協力」，連携・協働し支え合う教職員組織「チーム若南」
- (3) 自らの命は，自ら守る「危険回避能力」の育成
 - ◆地震・火災想定避難訓練 ◆不審者対応訓練 ◆救命救急法訓練 ◆引き渡し訓練 ◆交通安全教室
自転車教室の実施 ◆起震車・煙体験の実施 ◆防犯講話 ◆危機管理マニュアルの充実と改善
- (4) 自己の健康安全に関する保健指導の徹底
- (5) 学校評価や保護者アンケートを活かしたPDCAサイクルによる学校運営，教育方針の改善
 - ◆自己評価・学校関係者評価の実施 ◆児童・保護者アンケートの実施
 - ◆行事後の教職員や保護者アンケートの実施と総括，改善
- (6) 授業参観，各種たより，HP，安心メールによる情報発信
 - ◆学校開放日，授業参観，学校行事への参加等教育内容の積極的公開
 - ◆学校通信・学年通信・学級通信・保健だより・図書だより・給食だより等の発行
 - ◆HPでの情報発信や安心メールを使った緊急連絡の活用
- (7) 学校評議員制度の効果的活用とPTAや地域との連携協力
 - ◆地域ボランティアの活用 ◆学校評議員会の開催 ◆PTA専門部の活動